

# 自己点検・評価シート

整理No.	2-(1)-②	平成26年度 第9次鳥取市総合計画			
事務事業名	市民大学等開催事業	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる
	施策	2102	生涯学習の推進

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に在住、勤務する成人
意図 (どのような状態にするために)	「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習でき、また学習した成果を地域に還元するという生涯学習社会の実現を図る。
手段 (どうするのか)	優れた知識・技能を有する高齢者を各地域で開催される講演会等に講師として派遣し、高齢者がその年齢にふさわしい社会的地域を学習する尚徳大学や、市民が国際理解、郷土の歴史などの専門的知識、一般的な教養などについて学習する市民大学等を開催する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業 市民大学の開催	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業 市民大学の開催	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業 市民大学の開催	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業 市民大学の開催	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業 市民大学の開催	
	年度別実績	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,294人 高齢者人材活用事業 事業回数 3回 延参加者数80人 市民大学 講座開催数28回 延参加者数558人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,186人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数165人 市民大学 講座開催数30回 延参加者数752人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,755人 高齢者人材活用事業 事業回数 5回 延参加者数218人 市民大学 講座開催数30回 延参加者数726人	尚徳大学 講座開催回数126回 延参加人数6,692人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数 90人 市民大学 講座開催数30回 延参加者数837人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,579	7,785	7,832	8,109	2,279	
	直接経費 A	1,731	1,785	1,832	2,109	2,279	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	520	532	590	851	900
一般財源	1,211	1,253	1,242	1,258	1,379		
人件費 B	5,848	6,000	6,000	6,000			
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80		
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00		
	臨時職員						

## 4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>【事業の概要】</p> <p>○尚徳大学 おおむね60歳以上を対象とした生涯学習事業で、高齢者の総合的な学習活動の機会の場として開設している。現在は、合同学習（共通）及び8つの専門コースで学習を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コース 社会、書道、絵画、民芸、健康、郷土、彫刻、文芸 コース</li> <li>・学習内容 月2回の専門コース学習及び月1回の合同学習</li> </ul> <p>○高齢者人材活用事業 優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。</p> <p>○市民大学 鳥取市に在住、または勤務する成人を対象とし、一般的な教養、地域に伝わる歴史、専門的な知識の学習を行っている。</p> <p>平成26年度開催講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解講座 6回 ・市民健康講座 5回 ・郷土の歴史講座 5回 ・社会講座 6回</li> <li>・山陰海岸ジオパーク講座 5回 ・全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会学習講座 3回</li> </ul>
-----------	---

## 5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	尚徳大学及び市民大学の延べ参加者数	人	目標	7,050	7,400	7,750	8,100	8,450
		(指標の説明)		実績	6,852	6,938	7,491	7,529	
	2			目標					
		(指標の説明)		実績					

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	尚徳大学及び市民大学の延べ参加者数	人	97%	94%	97%	93%	
	2							

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の学習ニーズに適切に答えるために、各種学習機会を提供することは必要である。とりわけ、超高齢社会を迎えた現状において、地域社会の基盤となる高齢者を対象として学習機会と生きがいを提供する事業として妥当であると考えられる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢者の生きがいを、学びを通して促進する本事業は有効であると考えられる。また、市民大学では講座内容に社会的課題など民間事業では学習機会の少ないものも取り入れている。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	主に市の施設を利用して講座を実施し、また講師として各分野の専門家を招き、少ないコストで多様な学習機会を提供している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象について年齢の他には原則的に制限を設けず、学習意欲のある人ならば受け入れているため、公平性は保たれている。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	現代社会における高齢者が担う役割が日々増大していることをふまえて、文化的に豊かで社会参加を積極的に行う高齢者層の形成を視野に入れて学習機会を整備していく。また、多種多様な学習ニーズに適切に応えていくために、質的・量的な学習機会の提供に努力する必要がある。	
今後の課題・方向性	「尚徳大学」と「市民大学」は、それぞれの事業のねらいを明確にして幅広い市民に学習機会を提供するとともに、市民として学ぶべきテーマを取り入れつつ事業内容を体系的に整理する必要がある。また、学ぶ意欲に応える事業が活発なのに比べて学習の成果を活かす事業が低調である。「人材活用事業」においては、学習成果を活かし地域に還元する仕組みづくりを推進したい。	

## 9. 学識経験者の所見

## 【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	高齢者が充実した生活を送るための仕組み作りは自治体の果たすべき重要なテーマであり、高齢者の学ぶ意欲に応える尚徳大学のような事業は重要である。また、高齢者それぞれの持つ知識技能を活用する仕組み作りも同時に重要なテーマであるので、高齢者人材活用事業をさらに工夫して活性化して頂きたい。
--------	--

## 【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	「人材活用事業」については「市民大学」「尚徳大学」の修了者も想定されているようであるが、事業の性格から考えると困難ではないかと思われる。「市民大学」「尚徳大学」の事業成果を地域に拡げることが意識されていることは評価されるが、別の形で成果の拡がりを捉えるべきではないか。「人材活用事業」については、独自の意義を持つと思われ、講師の募集や活用について改善が進められることを期待したい。
--------	--